

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「ニッポン成長株オープン（愛称 一等星）」は、  
信託約款の規定に基づき、償還となりました。

当ファンドは、日本の成長が期待される企業の株式へ  
投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行  
いました。

ここに、運用経過及び償還内容のご報告をいたします  
とともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧  
を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第20期末(2025年2月5日)

償 還 価 額	12,690円77銭
純 資 産 総 額	743百万円
第20期	
騰 落 率	33.2%
分配金(税引前)合計	－円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみな  
して計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示  
しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項の  
うち重要なものを記載した書面です。その他の内容  
については、運用報告書(全体版)に記載しており  
ます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全  
体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提  
供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、  
SBI岡三アセットマネジメントのホームページに  
て閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求  
により交付されます。交付をご請求される方は、販  
売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報「償還ファンド運用報告  
書」から当ファンドのファンド名称を選択すること  
により、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウン  
ロードすることができます。

# ニッポン成長株オープン (愛称 一等星)

追加型投信/国内/株式

## 【償還】

作成対象期間：2024年8月6日～2025年2月5日

## 交付運用報告書

第20期(償還日2025年2月5日)

**SBI** 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

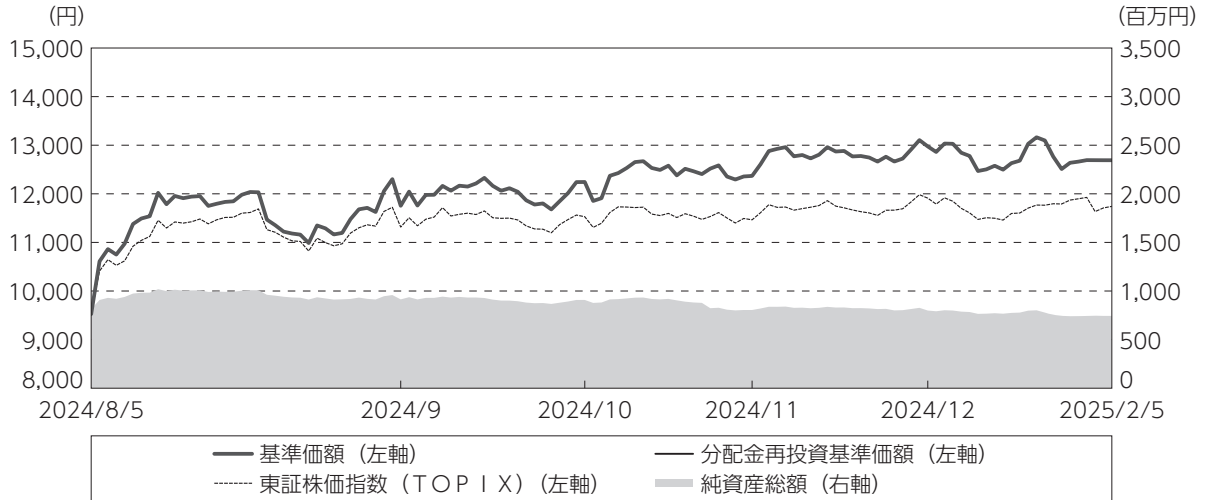
■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年8月6日～2025年2月5日)



期 首：9,525円

期末(償還日)：12,690円77銭 (既払分配金(税引前)：一円)

騰 落 率：33.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、東証株価指数(TOPIX)です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の<当ファンドの参考指数について>をご覧ください。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2024年8月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・業種配分では、非鉄金属、輸送用機器、情報・通信業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、フジクラ、武蔵精密工業、リクルートホールディングスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

## (主なマイナス要因)

- ・業種配分では、医薬品、陸運業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、第一三共、上村工業、エンプラスなどが基準価額にマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2024年8月6日～2025年2月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	105 ( 51 ) ( 51 ) ( 3 )	0.854 (0.416) (0.416) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	29 ( 29 )	0.232 (0.232)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 )	1 ( 1 )	0.006 (0.006)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	135	1.092	
期中の平均基準価額は、12,335円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

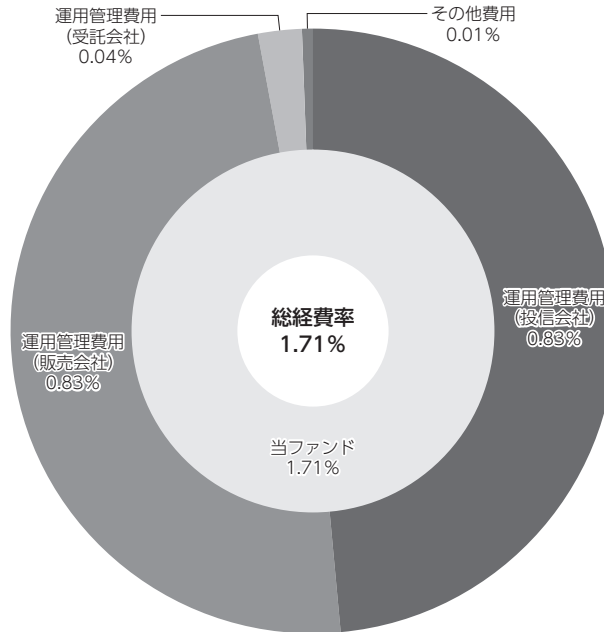
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

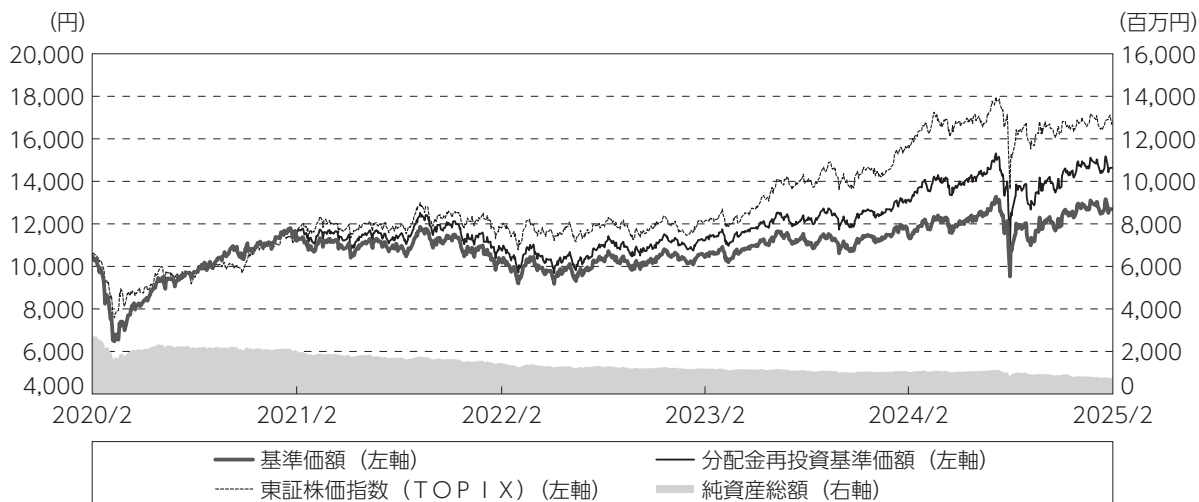
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年2月5日～2025年2月5日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 東証株価指数(TOPIX)は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年2月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年2月5日 期初	2021年2月5日 決算日	2022年2月7日 決算日	2023年2月6日 決算日	2024年2月5日 決算日	2025年2月5日 償還日
基準価額 (円)	10,437	11,201	10,194	10,433	11,398	12,690.77
期間分配金合計(税引前) (円)	—	400	200	200	800	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	11.2	△ 7.3	4.3	17.1	11.3
東証株価指数(TOPIX)騰落率(%)	—	11.1	1.9	2.8	29.2	7.4
純資産総額 (百万円)	2,748	1,993	1,446	1,177	1,037	743

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

## 投資環境

(2024年8月6日～2025年2月5日)

当期の国内株式市場は上昇しました。前期末に、日銀総裁が継続的な政策金利引き上げについて前向きな姿勢を示したことや、米国の景気後退懸念を強める失業率の上昇が見られたことを背景に大幅な円高/米ドル安が進行し、株式市場は大きく値を下げていました。しかし、日銀が引き続き緩和的な金融環境を維持する意向を示したことや、発表された決算内容が総じて堅調な企業業績を示したことから株価は大きな反発を見せました。2024年10月以降は国内衆議院選挙や米国大統領選挙など政治的な不透明要因が株価の上値を抑えましたが、堅調な企業業績や積極的な株主還元の発表により株価は底堅く推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

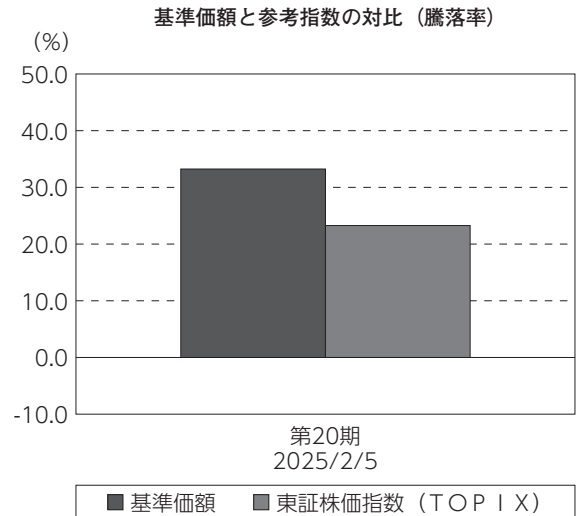
(2024年8月6日～2025年2月5日)

当ファンドの運用については、リクルートホールディングス、ファーストリテイリング、任天堂など、グローバルにビジネスを展開し、利益を継続的に成長させることができると判断した日本を代表する企業を中心にポートフォリオを構成しました。加えて、AI（人工知能）やデータセンターへの投資が事業の追い風となり大きく利益水準が引きあがることが期待されたフジクラ、武蔵精密工業が大きく株価を上昇し、基準価額に対してプラスに寄与しました。一方、がんの抗体医薬品開発に競争力を持つ第一三共は、開発中の新薬の臨床データが期待された水準に届かなかったことを背景に大きく株価が下落し、基準価額に対してマイナスに影響しました。なお、償還に向けて2025年1月末に全保有銘柄を売却致しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年8月6日～2025年2月5日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 参考指数は、東証株価指数 (TOPIX) です。

## お知らせ

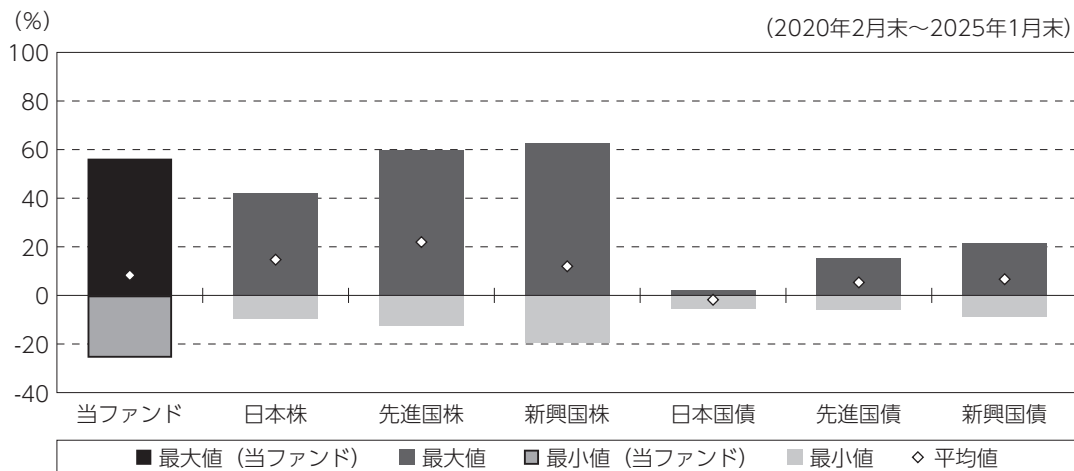
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2015年2月6日から2025年2月5日までです。
運用方針	日本の成長が期待される企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
運用方法	成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
分配方針	毎年2月5日および8月5日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.3	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 25.7	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	8.3	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の&lt;代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について&gt;をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年2月5日現在)

有価証券等の組入れはございません。

## 純資産等

項 目	第20期末(償還日)
	2025年2月5日
純 資 産 総 額	743,951,090円
受 益 権 総 口 数	586,214,207口
1万口当たり償還価額	12,690円77銭

(注) 期中における追加設定元本額は1,923,712円、同解約元本額は271,073,737円です。

### ＜当ファンドの参考指数について＞

TOPIX (以下、「東証株価指数 (TOPIX)」といいます。)の指数値及び東証株価指数 (TOPIX)に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX)に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数 (TOPIX)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。